

SHIRAKOBATO

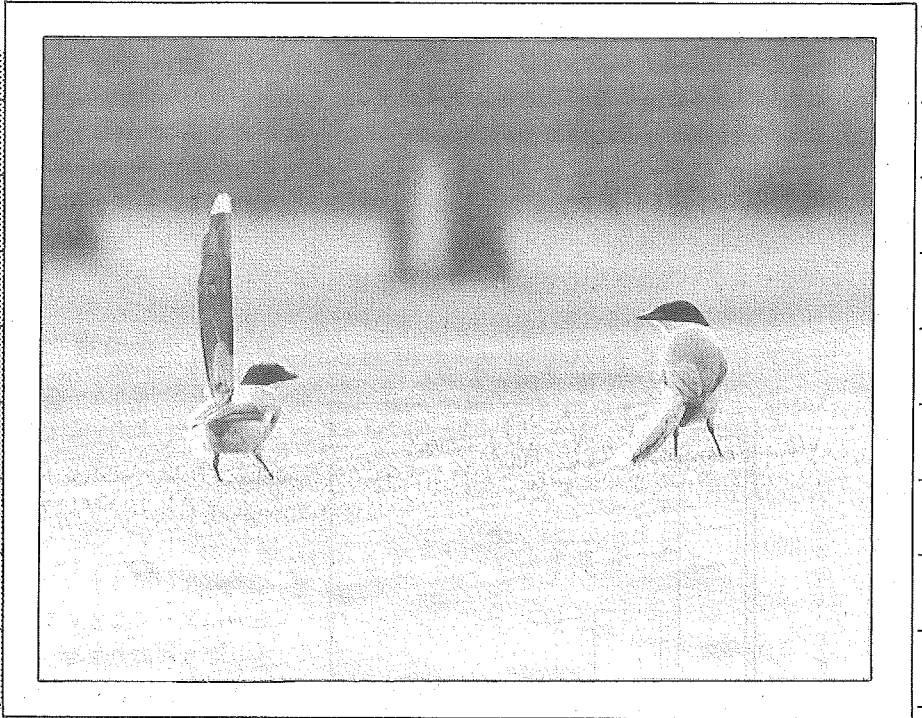
しらこぼと



1992. 10

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 101

日本野鳥の会 埼玉県支部

省エネのすすめ

三田 長久 (狭山市)

鳥を見るだけでいいんですか

以前さえずりコーナーで提起した、「我が支部の中心的活動である探鳥会は自然保護に役立っているのだろうか」という疑問に対して皆さんはどうお考えになりましたか？ 私は役立っていると思うんですが、それには条件があります。鳥の美しさに感動し、自然を愛する心を育み、その結果何らかの形で自然保護の運動に参加したり協力したりすることがその条件というわけです。

すぐにでもできる自然保護運動として、車に乗らない、冷暖房をひかえる、電灯をこまめに消す、リサイクルに協力する、等々を提示しました。しかし、こんなことをチマチマとやるだけで、いったいどんな効果があるんだ！地球の環境なんかに影響はないだろう！とというようなことを言う人もいますので、この実践レポートをお送りします。

何が問題なのですか

子孫のことを考えず、今を楽しく生きるには省エネなど不必要なんです、それはあまりにも無責任で恥じるべき行為ですね。我々の子孫にも探鳥会を楽しんでもらえるためには、

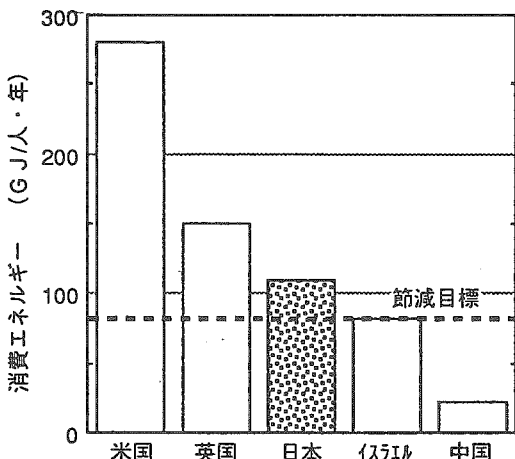


図1. 国別の一人当り年間エネルギー消費量

地球規模で考えた場合どの程度の省エネが要求されているかをWWF (世界自然保護基金) がまとめた「新・世界環境保全戦略」⁽¹⁾に基づいてご紹介しましょう。

地球の収容能力の範囲に人間の活動を抑えるための緊急課題として、一人当りの年間エネルギー消費を80ギガジュール (GJ) まで節減することが要請されています。ギガジュールというのはエネルギーの単位で10億ジュールのことであり、1キロワットの電気ストーブを約12日間昼夜つけっぱなしにするのに必要なエネルギーです。

世界の国々の一人当りの年間エネルギー消費の現状を図1に示しました。日本は現状が110ギガジュールであり、約30%の削減が必要です。

いくら一人当りのエネルギー消費を抑えても、人口が現状のように増加してはなんにもならないので、各国の出生率を2.1 (人口安定化水準) にするようにも要請されています。日本の出生率の現状は1.7ですので、我々は省エネにはげめばいいということになります。

実践してみると

4か国の家族がゴミの削減、電気、ガス、ガソリン、水道の削減に努力すると、1箇月でどの程度の効果がでるかという実験をテレビで放映していました。姉のドライバーを3分に制限して、弟のTVゲームも3分に制限してお互いにストップウォッチで監視しているのに笑ってしまいましたが、これでは長続きしそうにありませんね。

私は平日には横須賀で単身赴任生活を送っていますので、個人のライフスタイルがはっきりとガスや電気のメーターに出て省エネの効果がよくわかります。私の一年以上にわたる省エネ・ライフスタイルの実験結果をご紹介します。

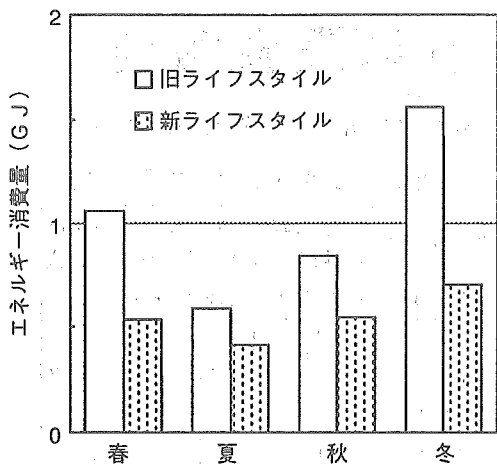


図2. 季節毎のエネルギー削減効果

旧ライフスタイル：冬は室内暖房、毎日風呂に入る。夏はときどき冷房使用、シャワーのみ。

新ライフスタイル：冬は局所暖房のみで、手足の冷えるところのみ暖める。夏は原則として冷房は使用せず。年中原則としてシャワーのみ。

ここで、原則としてが入るのは、体の調子が悪いときはあまり無理ができないからです。電気とガスの使用量をエネルギーに換算して新旧のライフスタイルによるエネルギー消費量を比較したものが図2です。四季における削減効果を示しました。春は3～5月、夏は6～8月、秋は9～11月、冬は12～2月の合計です。やはり冬の削減効果が大きいですね。旧ライフスタイルでもあまり冷房は使っていなかったもので、夏季における削減効果は小さいようです。

一年間のエネルギー消費量を電気・ガス別に示したのが図3です。電気とガスがほぼ同様の削減となり、全体で45%の削減になりました。この他に水道も24立方メートルが17立方メートルに削減できましたが、エネルギーへの換算が困難なため、計算には入れませんでした。

みんなでやらないきゃ

わたしはもともと省エネルギーの生活で、冷房もほとんど使っていなかったため、エネルギーの削減効果はあまり大きくありませんでしたが、少し省エネしようと決意し、一年

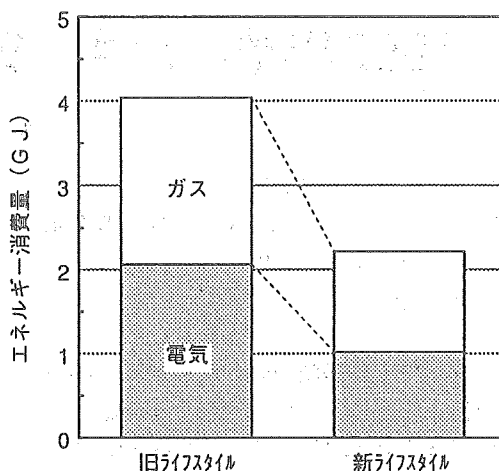


図3. 電気・ガス別にみた年間エネルギー消費量

間続けると約2ギガジュール、45%のエネルギー削減が可能でした。一人だけですとわずかな量ですが、みんなでやればすごい量になります。冷房を使わないというのは耐えられないという方はせめて設定温度を高くしましょう。日本政府も夏の省エネルギー対策として家庭や職場で冷房温度を28度に高めようと提唱しているではありませんか。

私は車を使わず、バスにもできるだけ乗らないようにしていますので、ガソリンの節約は不可能なんです、毎日車に乗っているあなた！ちょっと省エネ・ライフスタイルを実践してみませんか。実践レポートをお待ちしています。

参考資料

(1) WWF増刊号Vol.22, No.183,1992.

なお、「かけがえのない地球を大切に／新・世界環境保全戦略」は全文が翻訳され小学館から刊行されています。定価は3,500円。



渡辺 敦

1992年春 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部 研究部

日時：1992年4月29日

AM 9:30-11:00 大久保農耕地

AM 7:15-9:15 入間川

天候：晴（強風）

表 1992年春 シギ・チドリ類調査結果

調査地	大久保農耕地 浦和市/大宮市			入間川：狭山市 (豊水橋-新富士見橋)		
	'90年	'91年	'92年	'90年	'91年	'92年
鳥種						
タマシギ	2	-	-	-	-	-
コチドリ	1	1	4	4	1	2
イカルチドリ	-	-	-	-	-	3
シロチドリ	1	-	-	-	-	-
ムナグロ	624	474	386	-	-	-
キョウジョシギ	2	-	-	-	-	-
トウネン	1	-	-	-	-	-
オグロシギ	1	-	-	-	-	-
ウズラシギ	-	1	1	-	-	-
ハマシギ	30	1	-	113	126	41
アオアシシギ	-	2	1	-	-	-
タカブシギ	16	4	6	-	-	-
キアシシギ	3	-	-	-	1	-
イソシギ	-	-	-	3	6	7
チュウシャクシギ	8	3	1	-	-	-
コシャクシギ	1	-	-	-	-	-
タシギ	11	43	36	2	1	-
ジシギSP	-	-	3	-	-	-
シギSP	-	-	5	-	-	-
個体数合計	701	529	443	122	135	53
種数合計	13	8	9	4	5	4

4月29日に埼玉県内のシギ・チドリ類の一斉調査が行われました。あいにくの強風にもかかわらず支部会員27人のご協力が得られました。

観察された鳥種・個体数は12種498羽で、昨年の春と比較すると種数では2種多くなっています。しかし、大久保農耕地ではムナグロ、入間川ではハマシギが昨年よりかなり少ないため個体数では約170羽少なくなっています。ご協力ありがとうございました。

(執筆 登坂久雄)

〈参加者〉

阿久澤キエ	高草木泰行	渡辺喜八郎
阿久澤 廣	佐久間博文	登坂 久雄
海老原教子	新堂 克浩	二村 英克
海老原美夫	星野 好朗	馬場 昇
久保田忠資	石井 智	福井 亘
金井 敦美	石岡 友二	福井 恒人
金井 祐二	大本 栄造	立岩 恒久
荒木 恒夫	丹 茂子	箕輪 眞澄
高松 格	渡辺 嘉男	三田 長久

//////////////////////////////////// 地鳴き コーナー //////////////////////////////////////

*** 犬も歩けばビデオをくわえる ***

町田好一郎（本庄市）

少々古いが、ドジなお話をひとつ…。

1月5日は、日の出の太陽が欠けて出る「日出帯食」が見られるとか。お世話になっているNHKの美人アナウサーが、チラッとささやいていました。

すぐのタチなので、早速目覚しをAM6:00にセットし、朝、自分でコーヒーを入れ、ついでにトーストも作り、当然のことながらこれまた一人でそれを食べ、後片付けをし（エライッ!!）、おっとり刀で利根川を渡った。

いつもの土手の上で三脚にフィールドスコープをセットし、ビデオを用意し、1台は土手の芝の上に置いて、さ〜と、スタンバイ。

「さ、さむい!」からっ風が体の中を吹きぬける。私になついている野良犬の「ベケ」がチョコロ、チョコロ…。軽く口笛など吹いて、あいさつを交わす。

AM6:51。出た!! 出たぞ!! 回りにも2〜3人、スチールやビデオ撮りのオッサン達があむろしている。ビデオを回すと同時に、おもむろにマウンテンパーカーのポケットから6×7版のまっ黒なポジ版をとり出し、ピ

キリアイ Broad-billed Sandpiper

名栗溪谷のブッポウソウこと“Broad-billed Roller クン”は、大勢のバードウォッチャーを十二分に楽しませて無事に子育てを完了。今頃はどこかでローリングをやっているのかな？

さて、英名で同じくちばしがBroad(広い、大きい)であるという特徴をとらえたものに、キリアイが“Broad-billed Sandpiper”すなわち“広いくちばしのシギ”と命名されています。キリアイを漢字で“錐合”とあてていますが、意味がまったく分かりません。キリアイはやはり基部よりかなり太めのくちばしをしており、それがやや下向きに下がっている点が特徴になっています。

この珍鳥に類するキリアイこと“Broad-billed Sandpiper”が今、谷津干潟にきているとのこと。英名で特徴としてとらえている“Broad-billed”でズバリ識別できるかどうか、挑戦してみませんか？

ちなみに、香港の図鑑で調べると、ブッポウソウは三寶鳥、キリアイはまさに英名と全く同じの闊嘴鳥、すなわち広嘴鳥で、その発想は英名の場合と同じです。また、三寶鳥は和名の仏法僧と完全に一致しているから、面白いと思いませんか。

くちばしにこだわって、今回はどんな特徴のくちばしのおでましか、お楽しみに！

デオの前に出す。「見えた〜!!見えました。」

右下がちよっぴり欠けた太陽がぱちりと。ビデオもパーフェクトに作動している。オッサン達「駄目だ!!まぶしくて何も見えね〜。もうヤメンベ〜!!」と群馬弁、こちらの武器をチラチラ見ながら。

ここまでは全てうまくいっていた。オッサン達もスグスグ退散し、独占生中継を…。

「よし、ビデオをHI8(12月31日に買ったばかりのおニュー)に換えよう」と、右手で土手の上を探す。「なっ無い!!」、たしか、ここにさっきまで置いてあったはず…?でも無い、おかしいぞ。念のため、車の中を見してみる。やっぱり無い。この間にも太陽はズンズン高くなる。気持ちがあせってくる。

その時、前方の土手の上で「ガラガラ」と妙な音がきこえてくる。

「アッ、ペケだ。」

ペ、ペケが私のま新しい、しかもHI8のビデオを、そのストラップを口にくわえて土手の上を駆けていくじゃ〜あ〜りませんか!?

頭に来て、カーッと血が昇り、「ペケ〜ッ」と全力で約100Mの追跡。そばの小石で脅しの一発。これが見事命中。ペケの「キャ〜ン」でビデオは土手の傾斜を落下し、何とか手の中に収めました。

が、いと哀れ。買ったばかりのビデオは傷だらけ…。罪の意識のない「ペケ」は名付親の私の足許で、尾を軽やかに振っています。あ〜、厳冬の朝の物語り…。

私的昆虫採集基準

渡辺 光行(浦和市)

昆虫採集について論じる時、次の点に留意すべきだと思います。現在140万種の生物が記録されているが、未発見の生物を含めると3000万種にはなり、それらは薬品や穀物などへの種々の可能性を秘めていると言う点です。

日本の昆虫は、天然記念物に指定された種や発生地などでの34種及び国立(定)公園などの指定地域内での採集は禁止されています。また、昆虫公園などでの採集はルール違反ですし、売買なども好ましくありません。現在、環境庁にて新法の動きなどもあります。

その上に立って、私的昆虫採集基準を考えってみました。研究用は除くとしていかがなものでしょうか。

- * 希少昆虫の採集はしない。
- * 成虫以外は採集をしない。
- * 同年・同所から同形の採集をしない。
- * 標本は展示できるように整理しておく。

新鳥情報

ハジロカイツブリ ◇6月25日、戸田市道満調整池で夏羽1羽。きれいだった。(高橋達也)。

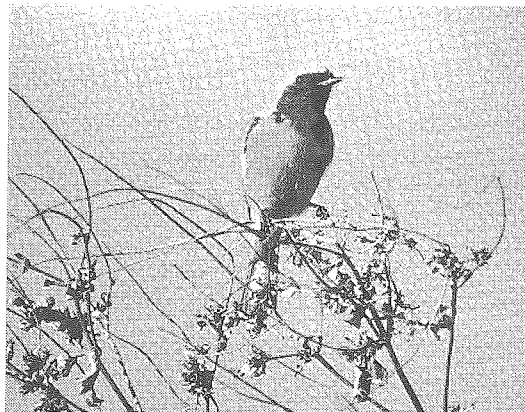
ヨシゴイ ◇6月7日、戸田市道満調整池で1羽(高橋美保子)。◇6月14日、浦和市秋ヶ瀬のB区で2羽。1羽は稲の間。もう1羽はヨシ原の中に飛び込んだ(二村英克)。

ササゴイ ◇6月12日、川越市松江町のお稲荷さんの大イチョウ。ハシブトガラス、ドバト、オナガに混じって、少なくとも1つがいのササゴイを見る。営巢中の模様。7月4日、葉が茂って、なかなか確認しにくかったのですが、少なくとも2羽のヒナが巢を出て太い枝の上でオットット。親鳥が心配そうに見守っておりました。周囲の葉のざわめき具合から見ると、他にも何羽かヒナがいると思われます。8月7日、先日とはかなり離れた大枝で、幼い鳥1羽がスタスタ。見上げたところ少なくとも3個の巣が見えました。今日のヒナは先日とは別の巣の子でしょう(中司隆由)。

オナガガモ ◇6月29日、志木市の新河岸川、いろは橋—富士下橋間で♂2羽(中司隆由)。

チョウゲンボウ ◇6月26日、戸田市道満で♀1羽。ゴルフ場横の杭にとまっています(二村英克)。

コジュケイ ◇6月5日～6日、浦和市常磐1丁目の常磐公園で大きな声で鳴く。まさかこんな所でと、びっくりしました。その



(登坂 久雄)

後は聞きません。いったい、どこから来てどこへ行ったのでしょうか(江原恵子・愛)。

ヒクイナ ◇6月5日、志木市の秋ヶ瀬ダム右岸のヨシ原で、独特の声で鳴いていた(二村英克)。◇6月14日、浦和市秋ヶ瀬のB区で2羽。稲の間で尾をピコピコ動かしながら餌をとっていた(二村英克)。

タマシギ ◇5月30日深夜、春日部市増田新田の自宅で鳴き声を聞く。ゆっくりしたテンポで「ホーン」とも「コーン」とも聞こえる声の連続音でした(石川敏男)。

アジサシ ◇6月7日、戸田市道満調整池で6羽(高橋美保子)。

アオバト ◇6月28日、三峰山で1羽(山岸昭治)。

ジュウイチ ◇5月29日、秩父市の県民の森で1羽(北川慎一)。

ツツドリ ◇5月29日、秩父市の県民の森で1羽(北川慎一)。◇5月30日、秩父市の野外活動センターの森で1羽(北川慎一)。

ホトトギス ◇5月23日、朝霞市の黒目川、岡橋下流で1羽。城山公園から第3小学校近くの電柱まで飛んだ(二村英克)。◇5月27日、大井町で1羽(林弥生子)。◇5月29日、秩父市の県民の森で1羽(北川慎一)。◇5月30日、秩父市の野外活動センターの森で1羽(北川慎一)。◇6月6日、嵐山町の菅谷館跡で鳴き声を聞く(中村治)。◇6月15日午後9時45分、桶川市若宮の自宅上空を北へ「特許許可局」と2回鳴きながら飛ぶ(立岩恒久)。

アオバズク ◇6月3日午前10時30分頃、吉田町の神社で観察中。昼間なのに落ち着きがない。しばらくして、強烈な羽音で振り向いて見たところ、約10メートル位の大木から体長1メートル位のアオダイショウが落ちてきた。その後は、枝にとまって落ち着いていた。身を呈して巣を守る親鳥の姿に感動した(山口輝雄)。

ヨタカ ◇6月13日午後9時30分、寄居町の釜伏神社周辺で「キョキョキョ」と鳴きながら谷間を飛びかう(田口浩司)。

アマツバメ ◇5月31日、熊谷市の荒川大橋上空で1羽(森本國夫)。

アカショウビン ◇6月27日、児玉町の間瀬湖周辺で1羽。鳴き声と姿も見られる(田口浩司)。

カワセミ ◇6月25日、戸田市の戸田橋付近の荒川で2羽。鳴き交わしながら、飛びまわっていた(高橋達也)。

ショウドウツバメ ◇5月31日、朝霞市の黒目川、岡橋下流で7羽。脱色した独特の色でスイスイ飛んでいた(二村英克)。

セグロセキレイ ◇6月4日、桶川市若宮の自宅団地の植えこみで、チョコチョコ歩きのヒナ2羽が、親から口移して餌をもらう(立岩恒久)。

ミソサザイ ◇5月29日、秩父市の県民の森で1羽(北川慎一)。

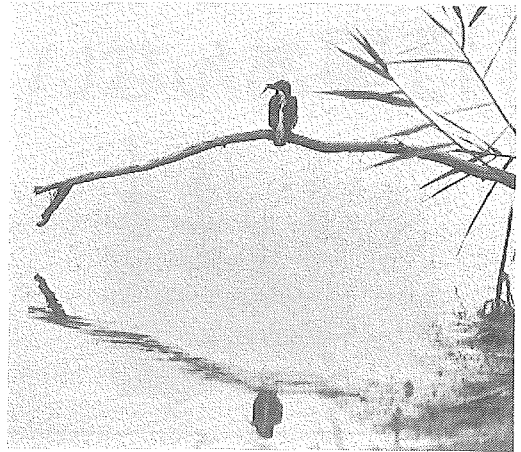
コルリ ◇5月29日、秩父市の県民の森で1羽(北川慎一)。

ヤブサメ ◇5月29日、秩父市の県民の森で1羽(北川慎一)。

ウグイス ◇6月29日、戸田市道満の釣り堀横の林でさえずりを聞く。この時期には珍しい(高橋達也)。

コヨシキリ ◇5月23日、志木市の秋ヶ瀬ダムで1羽。たよりなげに鳴いていた(二村英克)。◇5月26日、深谷市の上武大橋下流で1羽。28日には3羽(井上幹男)。◇5月27日、浦和市秋ヶ瀬のB区で1羽(渡辺喜八郎)。◇5月30日、狭山市の入間川、霞川合流点の下流50メートル付近で1羽。白い眉斑に黒い眉のダンディーなジャズシンガーの登場です(三田長久)。◇6月4日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で1羽(高橋達也)。

メボソムシクイ ◇6月1日、大宮市日進町1丁目目で1羽。さえずりと地鳴きと姿も見る(森本國夫)。



(町田好一郎)

センダイムシクイ ◇5月29日、秩父市の県民の森で1羽(北川慎一)。

キビタキ ◇5月29日、秩父市の県民の森で♂1羽(北川慎一)。◇5月30日、秩父市の野外活動センターの森で1羽(北川慎一)。

サンコウチョウ ◇6月2日、大宮市日進町1丁目目で1羽。さえずりと地鳴きのみ(森本國夫)。◇6月16日、行田市の埼玉古墳隣の前玉神社裏の杉林でさわやかなはっきりとした「ホイホイホイ」の声。頭の黒、背の橙褐色。ブルーのアイリングのコントラストが美しい♀1羽。杉林の中を見え隠れして飛びまわりましたが、多分1羽だったと思います(逸見 嶮)。

コガラ ◇5月29日、秩父市の県民の森で1羽(北川慎一)。

ヒガラ ◇5月29日、秩父市の県民の森で1羽(北川慎一)。◇5月30日、秩父市の野外活動センターの森で1羽(北川慎一)。

イカル ◇6月14日、桶川市若宮の自宅西方より美しい声で「イイコイル～」と数回聞こえてきた(立岩恒久)。

表紙の写真

ネイチャーフォトコンテスト1991 入選作

オ ナ ガ (カラス科)

ここは俺の領分だ!! 入っちゃ駄目!! とばかりに、文字通り尾を起立させて、相手を威嚇しているところです。

なにやら小次郎を連想させます。

このあと決闘に至ったかは、さだかではあ

ありません。

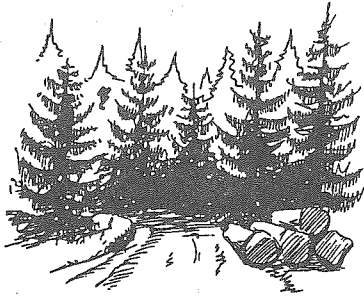
1991年7月2日 本庄J高校にて

ペンタックスSFXN 330mm オート

F5.6 フジHG400

町田好一郎(本庄市)

行事あんない



北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：10月4日（日）
集合：午前9時20分 北本観察公園駐車場
交通：JR高崎線北本駅西口よりリーダーの指示に従ってタクシーに分乗してください（午前8時45分ごろから）。
担当：岡安、榎本、内藤、吉原、関口
見どころ：楽しみがいっぱい、秋の雑木林。秋風、木もれ陽、咲き乱れる草花、渡りの小鳥との思いがけない出会い。自然好きだけが味わえる至福のひとつとき。

川口市・差間探鳥会

期日：10月4日（日）
集合：午前9時 JR武蔵野線東浦和駅前
交通：武蔵野線北朝霞8：43、武蔵浦和8：50、南浦和8：53/南越谷8：39
解散：大崎公園にて。浦和行き、東川口行きのバスが出ています。
担当：手塚、伊藤、笠原、田口
見どころ：ツツドリ、ノビタキ、エゾビタキ、旅の途中の鳥を求めて歩く。見沼田んぼは今、ススキの大海原。

北川辺町・渡良瀬遊水池探鳥会

期日：10月4日（日）
集合：午前9時10分 東武日光線柳生駅前
交通：JR東北線大宮8：12→栗橋8：41、東武日光線乗換え8：55→柳生9：05
担当：中島、松井、吉原、五十嵐、入山
見どころ：ミサゴやチュウヒが舞う広い葦原、

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会埼玉支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

澄んだ空。渡良瀬は永遠に守ってゆきたい私たちの宝です。

伊良湖岬探鳥会（要予約）

期日：10月10日（土・祝）～11日（日）
定員に達しましたので締め切りました。たくさんのご応募ありがとうございました。参加される方には詳しい案内書を送付いたします。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：10月11日（日）
集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9：06発または寄居9：03発に乗車。
担当：菱沼（一）、森本、関口、菱沼（洋）
見どころ：ヒタキたちの静かな旅。キビタキ、オオルリなどが、平地の林にひょっこり現れる季節。もう、さえずってられません。目をこらして探しましょう。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：10月18日（日）
集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後、バスで現地へ）または、午前9時 浦和市立郷土博物館前
後援：浦和市立郷土博物館
担当：楠見、福井、渡辺、手塚、伊藤、笠原、田口
見どころ：ン？芝川に怪しげなカモ？もしかしたら珍鳥！と、叫ぶ前によく見て下さい。実はエクリプスのコガモやオナガガモ。半年ぶりの出会いです。

川越市・西川越探鳥会

期日：10月25日（日）

集合：午前9時 JR川越線西川越駅前

担当：長谷部、乗田、石井、三田、佐久間、柳原

見どころ：セキレイの仲間やカワセミなど、水辺を彩る鳥たちの姿を楽しみながら、秋の川原をのんびり歩きます。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：10月31日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局

案内：支部会員二千人突破は、もうすぐ。袋づめも、ますます忙しくなります。応援をお願いします。

野鳥写真クラブ定例会

とき：10月31日（土）午後2時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

案内：来年はトリ年、年賀状を自分の傑作で飾ろう！と考えている方も多いのでは？写真クラブで勉強して、着々と準備を進めましょう。

バードウォッチングウィーク行事

11月1日～7日はバードウォッチングウィーク。支部では期間中に4カ所で探鳥会を開催します。お友達や家族の方にも声をかけて、ふるって、ご参加ください。ベテランのリーダーが指導いたしますので、初めての方も、お気軽にどうぞ。

上尾市・丸山公園探鳥会

期：11月1日（日）

集合：午前7時20分 丸山公園北駐車場

交通：JR高崎線上尾駅西口1番バス乗り場から上尾車庫行き7：03発に乗車、終点下車、徒歩10分

解散：午前9時ごろ

担当：乗田、吉原、榎本、岡安、内藤、赤瀬、立岩

見どころ：ツグミ、ジョウビタキなど、冬鳥が渡ってくる頃。誰よりも早く、会いたい人は、誰よりも早く起きて、探鳥会へ！

富士見市・柳瀬川探鳥会

期日：11月1日（日）

集合：午前9時 東武東上線柳瀬川駅前

担当：藤原、黒田、杉本、石井、佐久間、高草木

見どころ：今年もタゲリに会えるかな？小さな田んぼだけど、タゲリ君たちは覚えていてくれる。だから、きっと今年も…

浦和市・秋ヶ瀬探鳥会

期日：11月3日（火・祝）

集合：午前8時 浦和駅西口バスロータリー（集合後、バスで現地へ向かいます）

担当：福井、楠見、草間、小林（み）、手塚、伊藤、田口、笠原、嶋田、羽石

見どころ：雑木林の小鳥たち、シギ去りし後の秋ヶ瀬で主役を務めます。枝々をめぐるカラの仲間、下草の繁みでつぶやくホオジロの仲間などなど…

吉見町・吉見百穴周辺探鳥会

期日：11月3日（火・祝）

集合：午前9時30分 東武バス停百穴入口前

交通：東武東上線東松山駅東口8：58発または、JR高崎線鴻巣駅東口8：50発バスに乗車

担当：榎本、岡安、内藤、吉原

見どころ：静かな沼にカモいろいろ。カモ類は観察しやすく、特徴も覚えやすいので、初めて鳥を見る方にも充分楽しめます。

新潟探鳥会（要予約）

期日：11月22日（日）～23日（月・祝）

定員に達しましたので締め切りました。たくさんのご応募ありがとうございました。参加される方には詳しい案内書を送付致します。

行事報告

6月21日(日) 浦和市 三室地区

⊖ 50人 天気 曇 鳥 カワウ ゴイサギ
カルガモ チョウゲンボウ バン キジバト
カッコウ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツ
バメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨ
ドリ モズ オオヨシキリ セッカ シジュ
ウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ム
クドリ オナガ ハシボソガラス ハシブ
トガラス (25種) 今回は99回目の探鳥会で、来
月100回記念探鳥会を迎えるため、昔なつか
しいコースを歩いてみた。芝川にかかる上新
宿橋は、崩れかかった石橋であったが、今は
コンクリートの良い橋になり、大道東橋は、
川面から素晴らしく高い橋となっている。橋
の上からは、見沼の全景、代用水、緑の斜面
林、大宮のソニックビル、遠く秩父の山脈が
見える。環境が変わり、人々も移り変わって
行くが、鳥たちはどうだろうかと考えた探鳥
会でした。 (楠見邦博)

7月12日(日) 熊谷市 大麻生

⊖ 43人 天気 晴 鳥 カイツブリ ササ
ゴイ ダイサギ コサギ カルガモ トビ
コジュケイ イカルチドリ シロチドリ イ
ソシギ コアジサシ キジバト コゲラ ヒ
バリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ
セグロセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ
セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒ
ワ スズメ コムクドリ ムクドリ オナガ
ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 初
めてのリーダーで緊張しっぱなし。関ロリー
ダーのフォローで無事に挨拶を終えて、さあ
出発。コースの途中では、ムクドリの幼鳥が
餌をねだるほほえましい姿が、あちこちで見
られました。ところがその中にコムクドリが
いるのを見落とし、大失策。参加者の皆さん
どうもすみませんでした。 (菱沼一充)

7月19日(日) 浦和市 三室地区

⊖ 114人 天気 快晴 鳥 カイツブリ
カワウ カルガモ コジュケイ キジバト
カッコウ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツ
バメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨ
ドリ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ
ホオジロ カワラヒワ スズメ コムクドリ
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブ
トガラス (24種) 昨日までの梅雨空がカラッ
とした快晴の天気となって、三室は第100回
の記念探鳥会を迎えた。1984年5月20日に第
1回の探鳥会を開催してから、1回も休むこ
となく開催してきました。その間に老若男女
延べ5132名の人々が、三室の鳥、花、木々の
緑を楽しみました。そして人々の交流が生ま
れました。100回の探鳥会を支えて下さった
会員の皆様、浦和市立郷土博物館の歴代の館
長さんや職員の皆様、リーダーの皆様等、た
くさんの方々に感謝いたします。今後とも、
埼玉県支部のメインの探鳥会として、地域の
文化、自然保護活動の拠点として、努力致し
たいと考えます。さてこれから200回記念探
鳥会を目指して歩みを続けますので、よろし
くご支援をお願い致します。 (楠見邦博)

7月25日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア 伊藤宏、岩波勇一、海老原教
子、海老原美夫、佐久間博文、鈴木啓紀、墨
江光子、高松格、中村治、藤野富代、山岸重
雄、渡辺孝章 (12人)

7月26日(日) 狭山市 入間川

⊖ 34人 天気 晴 鳥 カイツブリ ササ
ゴイ コサギ カルガモ キジ イソシギ
キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツ
バメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセ
キレイ ヒヨドリ セッカ シジュウカラ

ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ
オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
(24種) 暑さがきびしく鳥も少ないこの時期
に34名もの参加者。こういう人たちが明日の
野鳥の会を支えてくれるのだなあと、リ
ーダーは頑張ったつもりだが……出るのは
“汗”と“暑い”という言葉ばかり。行事案
内にのせたコチドリ、カワセミは出なかつた
が、ササゴイが現れてほっとした。

(長谷部謙二)

8月2日(日) 北本市 石戸宿

☒ 23人 天気 曇 鳥 カイツブリ カワ
ウ カルガモ ツミ サシバ コジュケイ
キジ ヒクイナ キジバト カワセミ ツバ
メ セグロセキレイ ヒヨドリ オオヨシキ
リ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ
スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブ
トガラス(21種) 前夜からの大雨で、一夜堤
近くの南幼稚園の池があふれ、通行不能。探
鳥会開始後、しばらくの間小雨が降ったが、
止んでくれた。ニセアカシアの枝に止まった
コジュケイの親子を、全員で近くからじっく
り見る事ができた。自然学習センターの入
口で、ジュースを飲み、喉を潤した。7月に
オープンしたセンターの講義室で鳥合わせ後、
海老原事務局長のブッポウソウのビデオを放
映した。

(岡安征也)

8月9日(日) 熊谷市 大麻生

☒ 14人 天気 小雨 鳥 カワウ ダイサ
ギ コサギ アオサギ カルガモ チョウゲ
ンボウ コジュケイ イカルチドリ キジバ
ト カワセミ ヒバリ ツバメ イワツバメ
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ
モズ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズ
メ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス(24種) 台風一過の青空を期待したが、
強風と小雨の中の探鳥会となった。野鳥の森
では鳥の声も聞こえず、ヤブミョウガの白い
花がひっそりと咲き、先月あれほどうるさか
ったオオヨシキリの声もなく、ちょっと淋し
く、秋が感じられた。河原では風も弱くなり、
ダイサギの漁や、モノトーンの世界に色あざ

やかなカワセミといったシーンも見られ、ま
ずまずの探鳥会でした。(菱沼一充)

8月23日(日) ワイワイガヤガヤVTRを楽
しむ会 参加者 18人 作品発表 4人

昨年は、テレビで放映された番組のVTR
を見る会だったが、今年は、自分たちで撮影
したVTRを発表する会に大変身。支部のビ
デオブームの火付け役、町田好一郎幹事は多
忙で出席できなかつたけれども、作品テー
プは参加。この会は、本人がいなくても参加
できるめずらしい会なのだ。(海老原美夫)

8月29日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア 荒木恒夫、岩波勇一、海老原
教子、北折佳司、楠見文子、桜庭勇、墨江光
子、丹茂子、登坂久雄、中村治、中村榮男、
藤野富代、松井昭吾、山岡百合子、山岸重雄、
渡辺喜八郎(16人)

9月6日(日) 本庄市 阪東大橋

☒ 25人 天気 晴 鳥 ダイサギ コサギ
アオサギ カルガモ トビ チョウゲンボウ
ウズラ シロチドリ アオアシシギ タカブ
シギ キアシシギ イソシギ タシギ キジ
バト アマツバメ ヒバリ ショウドウツバ
メ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セ
グロセキレイ ヒヨドリ モズ セッカ カ
ワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシ
ボソガラス ハシブトガラス(30種) 2~3
日前までの酷暑が「ウソ」みたいな、さわ
やかな秋日和。涼風の吹くなか「赤トンボ」
がスーイスイ。ショウドウツバメが乱舞し、ア
マツバメがブーメランのように線を描く。イ
ワツバメ、ツバメも負けじと競演する。自然
のドラマを全員で満喫。しかも、参加費以外
は全部「タダ」。キアシだ。いやタカブだ。
ちがうあれはアオアシだ！と悩んだり、学習
したり、これも「タダ」すなわち無料。しか
し、アオアシシギの物悲しい鳴き声、ノビタ
キのつぶらな瞳を大いに期待したのだけど、
ペケ！やっぱり、内緒で出演料を払っとかな
かつたリーダーがいけなかつたのかな？

(町田好一郎)

連絡帳

今井昌彦元支部長逝去

当支部の設立準備委員会委員長、設立時の昭和59年4月から平成元年6月までの5年間は初代支部長、その後は顧問として長年ご指導くださった今井昌彦元支部長が、8月19日75才で逝去されました。

ほかに日本調理師会会長なども務められた同氏は、まさに支部の育ての親でした。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

会長特別チームに松井支部長も参加

11月1日に開催されるバードソンに、黒田長久会長が特別チームを結成。松井昭吾支部長が、埼玉県支部を代表してチームに参加します。チーム名は会長の研究テーマにちなんで、「黒田会長カラス組」。カラス組に混じるハクトウワシ1羽。果たしてその活躍は・・・

『野鳥』誌にとじ込まれる募金申込書などを使って、特別チームをご支援ください。

このチームのバードソンは探鳥会形式です。どなたにもご参加いただけます。カラスとハクトウワシを、ヤジウマがとりかこもう。当日午前8時、明治神宮北参道鳥居前（JR代々木駅から10分）にお集まりください。（集合時間と場所が変更になる可能性があります。くわしくはバードソン事務局03-3406-7460飯塚・林山まで）

バードウォッチングウィーク展

タイトル “埼玉自然ふれあいの時”

期間 平成4年10月31日（土）～11月8日（日）初日は正午から、最終日は午後5時まで。

場所 熊谷駅ビル アズ熊谷 4階エスカレーター横 カプセルプラザ

後援 アイリスメガネ㈱ アズ熊谷 ㈱ニコン

内容 ネイチャーフォトコンテスト1992入選作品30点を展示。ほかに会員の撮影し

た最新ビデオの放映、マンツウマン・バードウォッチング教室、バードウォッチンググッズ販売など。土曜日曜は、役員リーダーらが会場でご案内します。

初日の午前10～12時は展示作業、最終日午後5～6時は撤去作業。お手伝いいただける方は、お集まりください。

10月の土曜日当番（2時～6時）

3日 中島康夫 楠見邦博（普及部会議）

10日 連休なので事務局休み

17日 山部直喜 海老原美夫（編集会議）

24日 草間和子 登坂久雄

31日 袋づめの会（1時から）

会員数は

9月1日現在 1,986人です

活動報告

8月1日 普及部会議。

8月15日 編集会議（9月号編集作業）。

8月16日 役員会議（司会・立岩恒久、次期評議員についての再検討・リーダー研修会スケジュール等・その他）。

8月28日 都内渋谷区で開催の理事会30万人部会に委員理事として出席（海老原）。

8月29日 リーダー研修会資料等準備。

編集後記

今井元支部長の訃報。その葬儀に参列した松井現支部長が、悲しみをこらえてバードソン特別チームに参加。まさに悲喜交々の今月号の「連絡帳」です。

今井旅館の一室に有志が集まり、支部設立について夜遅くまで語り合ったところが思い出されます。素人のタイプ、粗末な印刷で出発した「しらこぼと」も100号を越えました。164人だった会員数も、もうすぐ2,000人。

オヤジのようだった今井さん、これからも見守ってください。（海老原美夫）

『しらこぼと』1992年10月号（第101号） 定価 100円（会員の購読料は会費に含まれます）
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 東京9-121130
印刷 望月印刷株式会社（本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします）